



おかじまつよし

岡島剛 議員

Tsuyoshi Okajima

Q&A

一般質問

Q.防災組織の連携は A.協力して活動する機会を増やす

地震や豪雨などの災害が起きたときに備え、地域の防災力の強化が必要となる。関係団体が連携して被災者の保護・支援などを行うことが望ましい。

Q 豊山町消防団と小学校区自主防災会との連携はどうなっているのか。

A 総務部長
消防団は、自主防災会の指導的役割を担っている。自主防災会主催の防災訓練では、防災知識の普及啓発、消火や応急手当の実地訓練などで、参加者への防災教育、指導を行っている。

Q 各小学校区自主防災会の連携は。

A 総務部長
各小学校区自主防災会の会長と副会長が集まる小学校区自主防災会連合会を年一回、開催している。会議では、各地区での取り組みや懸案事項などの情報交換を行っている。

Q 消防団と小学校区自主防災会や各小学校区自主防災会の連携を強化してみてはどうか。

A 総務部長
大規模な災害が発生した際には、小学校区自主防災会、消防団の総力を挙げて対処する必要がある。

各組織が人的交流を図り、顔の見える関係を構築しておくことは、地域の防災力を高めるうえでいいしずえとなる。

町としては、消防団、小学校区自主防災会、各地区の自主防災会が、それぞれ協力して活動する機会を増やしていきたい。



▲救命方法を指導する消防団員